

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

釜石被災者支援センターは先週の11日で設立1周年を迎えました。特別な記念行事は特に行いませんでしたが、いつもどおり、様々な活動を行うことができました。これからも支援室は活動を続けてまいります。どうぞ皆様ご支援をお願いします。

【松井司祭と行く釜石の旅】

松井司祭と行く釜石ボランティアの旅が9月12日～18日の予定で行われます。今回は松井先生とドライバーの方を含んでいますので1名のみ募集となります。詳細は4日に発行の号外をご覧ください。まだまだ、釜石では、様々な活動が展開されています。どうぞ皆様のお力をお貸しください

【横山司祭 釜石勤務】

8月の北海道教区派遣聖職として、横山司祭が23日～29日に釜石にて勤務をします。前回は行くことができませんでしたが、今回の釜石での働きをお祈りくだされば幸いです。

【釜石での働き】

※ 震災支援室ブログ(海老原さん・太田さん発信)より抜粋

7月29日

※ 太田信三さんは東京教区の神学生で夏の実習を釜石で行っています

おとといまで比べたら涼しい一日。本日も太田信三がブログを担当します。今日は、海老原センター長と内竹さんは朝からお祭りの準備。今日の夕方は神愛幼児学園の夕涼み会、明日は昭和園仮設を会場にしたお祭りのお手伝いなのです。内竹さんは釜石ベースお祭り部長に任命され、張り切っております。本日は、釜石ベースに沢山の方が到着されました。

まず、東北教区の渡部拓神学生がいらっしゃいました。渡部さんは22日までいらっしゃいます。到着早々のセンター業務では、来訪された方に早速「イケメン」と言われていました。私、嫉妬しちゃいました。そして、東京教区阿佐ヶ谷聖ペテロ教会の皆様。田光司祭をはじめとした7名様。なんと釜石ボランティア最高齢の91歳の方がいらっしゃいました！まずは長旅、本当にお疲れさまでした。が、到着後早速、海老原センター長によるオリエンテーション、そして、視察に行かれました。さらに、2名はセンターに戻って夕食準備、他の方々は夕涼み会のお手伝いに行かれました。本当にお疲れさまでした。

8月11日

なによりもまず、センター開所1周年にあたり、海老原センター長からのメッセージを掲載させていただきます。「みなさまのおかげで何とか無事に1周年を迎える事ができました。これからも、釜石のために尽くしていきたいと思っております。どうか皆さん、お祈りください。みなさま一人一人の上に主の豊かな祝福がありますように、お祈りしております。」海老原談。

午前中は海老原センター長、昨晚到着された広谷司祭(北海道教区、聖公会神学院校長)、沢田安代さん、太田で小白浜仮設へ。「ひまわり」のクッキーと、開所1周年記念タオルを配らせていただきました。センター1周年といえど、まだまだセンターの存在を知らない方が沢山いらっしゃる事、まだまだ必要な働きがあることを教えられました。一方で、沢山の方がセンターを知って下さっていることも知りました。

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

- ◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。
- ◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】

電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp